

コロナ禍の年末年始で血液が足りない！

～署員が献血を実施～



令和2年12月28日の午前中、日本赤十字社の協力依頼を受け、感染防止対策の環境のもと、署長をはじめとした署員23人が献血を実施しました。

日赤の担当者は「毎年、冬期（特に年末年始）に献血者数が、減少する状況のなか、今年は、コロナ禍の外出自粛などの影響を受け、特に少なくなっています。今日、多くの消防職員のみなさまの献血が行われたことに、大変感謝します。」と話していました。